

平成19年12月10日発行

発行：学校法人皇學館
編集：法人本部総務課

TEL0596・22・6308
E-mail : soumu@kogakkan-u.ac.jp

皇學館学園報

第14号

■伊勢学舎

[法人本部・大学院・専攻科・文学部]
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704番地
TEL0596・61・0201(代) FAX0596・27・1704

■名張学舎

[大学院・社会福祉学部]
〒518-0498 三重県名張市春日丘7番町1番地
TEL0595・61・3351(代) FAX0595・61・3350

●インターネットホームページ
http://www.kogakkan-u.ac.jp

平成二十年度 学部改組記念

教育講演会を開催

本学は、九月二十九日、教育学部の新設等、平成二十年度から始まる学部改組を記念して、教育講演会・懇親会を四日市都ホテルにて開催した。講演会には土橋伸好三重県知事代理出納長、森下隆生伊勢市長をはじめ、高校、中学、小学校、幼稚園、保育所の教育関係者を中心に約二百名が出席した。

三学部の新体制で より発展的な教育活動を

本学は、平成二十年四月より、従来の文学部教育学部を昇格させる形で教育学部教育学部を新設する。また、福祉問題の多様化に対応するため、社会福祉学部を現在の一

学科四コースから一学科二専攻五コースに改組。三学部六学科体制として教育環境のさらなる充実・発展をめざす。

講演会に先立ち、伴五

十嗣郎学長が「皇學館大

学の教育と学部改組について」と題して、建学の精神を正しく継承し、新たな三学部体制を実現するため、より発展的な教育活動を目指す意気込みと抱負を語った。

市村先生講演について

経済学博士で京都大学名誉教授の市村真一先生より「教育基本法の改正と教育者の姿勢」の講演があった。



徳育の振興を訴える市村先生。

後、経済学博士で京都大学名誉教授である市村真一先生が「教育基本法の改正と教育者の姿勢」と題して約一時間にわたって講演した。

『日本の教育をまもるもの』などの著書を持つ市村先生は、日本人が日本民族としての自覚や、歴史・伝統を受け継ぐという観念が欠けていた旧教育基本法の問題点を指摘。平成十八年十二月二十二日に公布・施行された教育基本法ではこの点を含む重要な改正が行われ、日本国民を教育するにふさわしいものになっ



土橋伸好三重県知事代理出納長より祝辞が寄せられる。

たことを、洋の東西の歴史・文明・宗教・文化及び日本の特性等、総合的な観点から明らかにされた。

さらに、ご自身の五十年間に及ぶ研究と教育実践を顧みられながら、良き教育者の満たすべき要件についても言及。「人に教えることありて、初めて人の師たるべし」と吉田松陰の言葉を引用しながら、「親切」「敬虔な心」「品格」「学力」「温かい心情」など教育者としての資質について熱く語った。

その後、会場を移して懇親会を開催。上杉千郷理事長は「日頃、教育実習等で大変お世話になっている教育関係の皆様、少子化の教育界の難しい時期に学部改革を進めている本学に、これからも格別の御後援、ご高配をたまわりますことを切にお願ひ申し上げます」と挨拶。来賓の土橋伸好三重県知事代理出納長より、「三重県教育の発展のために、さらに質の高い教員の人材養成を期待します」と祝辞がよせられた。森下隆生伊勢市長による乾杯の発声があり、教育界における様々な課題に関して、終始和やかな雰囲気の中で出席者たちの意見交換がなされた。最後に、櫻井治男

社会福祉学部長より謝辞があり、盛況のうちに閉会となった。

確かな実践力をもつ教員養成を目指す 教育学部



教育学部長予定者
掛本 勲 夫

幅広い教養に裏付けられた豊かな人間性、教育者・保育者としての強い使命感、深い専門的な知識と技能に支えられた確かな実践力をもつ活躍できる人材の育成。教育学部教育学部はこれを使命として発足します。

カリキュラムには、学生が希望する進路に応じて専門的な知識や

多様なキャリア形成に応える 社会福祉学部



社会福祉学部長
櫻井 治 男

ソーシャルワークに強い保育士・幼稚園教諭を育てる「幼保一元」専攻のあらたな設置。在学中に小学校教諭(Ⅰ・Ⅱ種)資格取得(通信教育)へもアタック。県内私学で唯一の「特別支援学校教諭」資格プログラム。四年間だから学びが高まる社会福祉士と介護福祉士の道。「生命観に満ちた生活」

は「ぬくもりのある福祉」からを合言葉に、保健福祉の分野、産業社会・情報社会で活躍する人材、地域福祉社会の再生にチャレンジするリーダーを育てたい。十年目を迎えたスタッフ全員からのメッセージです。

社会福祉学部は、時代のニーズに応えながら、一人ひとりの学生にまなざしの届く学生支援とキャリア教育を進めています。

伝統をつなぐ 文学部



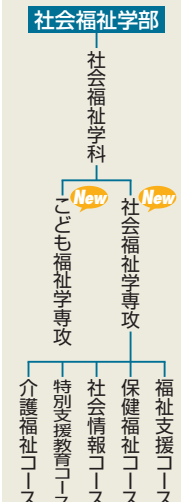
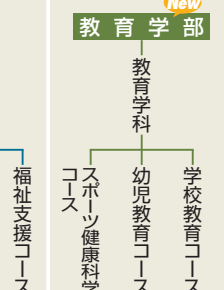
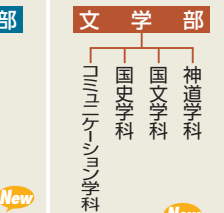
文学部長
清水 潔

文学部は神宮鎮座の伊勢の地に伝えられた、古典学を基調とする神道・歴史・文学に関するすぐれた学問の伝統を受け継いでいます。神道学科・国文学科・国史学科は、わが国の歴史と文化に深く根ざした学問に焦点を当て、古典教養を身につけた堅実な人材を育成することに努めてきました。既に教育界・神道界をはじめ幅広い分野の職域で活躍、厚い信頼を得ています。コミュニケーション学科は現

「日本とは、日本人とは何か」を問い、そこから国際的視野を得るとともに、衰弱しつつある日本の社会と文化の再生発展に貢献したいと、学部をあげて取り組んでいます。

伊勢キャンパス 教育学部 教育学科新設 (平成20年4月設置)

小学校教諭とあわせて、中学校・高等学校の教員免許と、幼稚園教諭と保育士資格の取得が可能になります。



創立百三十周年・再興五十周年記念事業寄付者芳名⑬

創立百三十周年・再興五十周年記念事業募金につきまして、学内外の方々から変わらぬ励ましの声とともにその後も多くのご芳志をいただきました。みなさまのご理解とご好意に對して心より厚く御礼申し上げます、ご協力いただいた方々の芳名を掲載させていただきます。事業活動の一層の充実をはかるべく、今後ともどうぞよろしくお願い致します。芳名掲載につきましては、十月三十一日までの到着分とさせていただきます。

創立130周年・再興50周年記念事業寄付金 進捗状況			
平成19年10月31日現在			
区 分	申込件数	申込金額(円)	納入金額(円)
宗 教 界	576	742,587,000	599,917,000
館 友	594	70,656,000	63,381,000
篤 志 家	38	28,690,000	28,530,000
萼 の 会	1,504	58,583,000	58,583,000
企 業	100	58,155,000	53,055,000
本法人関係	237	55,607,000	48,426,000
合 計	3,049	1,014,278,000	851,892,000

宗 教 界 (神社界)

青森県	六十万円「十万円増額」	高山稻荷神社様 （つがる市牛湯町）
二万円	雷電宮様 （東津軽郡平内町）	
一万円	八幡神社様 （和田市切田下切田）	
群馬県	十八万円	群馬県神社庁 前橋赤城支部様 （前橋市粕川町）
埼玉県	六万円「三万円増額」	峯ヶ岡八幡神社様 （川口市峯）
東京都	一千万円	明治神宮様 （渋谷区代々木神園町）
岐阜県	四万円	笠原神明宮様 （多治見市笠原町）
四万円	八幡神社様 （土岐市妻木町）	
二万円	白山神社様 （土岐市泉町）	
二万円	白山中居神社様 （郡上市白鳥町）	
三重県	百万円	三重県神社庁様 （津市鳥居町）
大阪府	千五百万円「五百万円増額」	住吉大社様 （大阪市住吉区）
兵庫県	十万円	塩田八幡宮様 （神戸市北区）

館 友 (個人)

和歌山県	十万円	和歌山県神社庁様 (和歌山市和歌浦町)
島根県	十万円	須佐神社様 (出雲市佐田町)
神奈川県	一万円	藤本 頼生様
石川県	五万円	田中 正記様
静岡県	五万円	室井 陽様
十万円「五万円増額」	岡山県	吉屋 博敏様
兵庫県	五万円	村瀬 陽一様
五万円	兵庫県	馬屋原真理子様
五万円	大分県	後藤 尚様
奈良県	十万円	稲熊 眞彦様

萼 の 会 (保護者の会)

文学部神道学科	六万円	鈴木 和幸様	三万円	永山 哲弘様
	五万円	三島 尚美様	三万円	成瀬 晴男様
	三万円	青井 美彦様	三万円	野原 壽雄様
	三万円	足野 吉弘様	三万円	東川 寛司様
	三万円	阿蘇 惟之様	三万円	藤原 清次様
	三万円	石井 英之様	三万円	藤本 昭二様
	三万円	石垣 光鷹様	三万円	松林 操様
	三万円	石原 純一様	三万円	宮地 秀直様
	三万円	今井 悦夫様	三万円	元橋 茂様
	三万円	小野 雄一様	三万円	山田 邦彦様
	三万円	木村 直彦様	三万円	吉崎 幸一様
	三万円	解良伸二郎様	文学部国文学科	青砥 乾一様
	三万円	郡山 宗典様		落合 啓良様
	三万円	小崎 吉孝様		倉田 均様
	三万円	小林 司様		古賀 寛治様
	三万円	坂本 直明様	三万円	棚橋 保男様
三万円	櫻井 利幸様	三万円	田村 保様	
三万円	佐々木宗昭様	三万円	古市 実様	
三万円	塩谷 尚志様	文学部国史学科		
三万円	嶋田 哲洋様		五万円	青柳 正孝様
三万円	竹尾 重樹様		三万円	井口 三郎様
三万円	建島 章生様		三万円	大西 一寿様
三万円	田原 寛様	三万円	小川 優子様	

神社関係者懇談会を開催

百十四名が来勢

去る平成十九年九月十七日(月)、鳥羽国際ホテルにおいて、恒例の「神社関係者懇談会」が開催された。この懇談会は、神宮における大麻磨頒布



懇談会では各テーブルで出席者の談笑する姿が見られ、交流を深めていた。

始祭に参列されるために来勢された神社関係者を皇學館大学としてお引きして、平素からの多大のご支援、ご指導をいただいていることへの感謝を述べられ、記念館建築の現況と学園運営の状況が報告され、今後も継続してご協力とご指導をお願いする旨の挨拶があった。当日は、神社本庁役員および関係者の方々、神宮からは大宮司様をはじめ関係者、さらには各都道府県神社庁長の方々

百十四名にご参加いただき、本学からは理事長、学長をはじめ二十一名が出席した。上杉理事長よりご参会の方々に謝辞と現在進行中の創立百三十周年、再興五十周年の記念事業について、神社界から格別のご支援をいただいていることに深い感謝とお礼が述べられ、懇親会に移り、神宮大宮司鷹司尚武様による乾杯のご発声につづいて、和やかな宴が催された。宴酣ながら午後八時の予定の時間となり、神社本庁総長矢田部正巳様の音頭で万歳を三唱して、懇談会は盛会のうちに終了した。

願者確保の努力と、志願者のご推薦依頼がなされた。加えて、四年生の就職活動状況についても例年通り、順調に進んでいることが報告された。ご来賓を代表して、神社本庁統理久邇邦昭様から、本学の益々の発展を祈念するとのご挨拶をいただいた後、懇親会に移り、神宮大宮司鷹司尚武様による乾杯のご発声につづいて、和やかな宴が催された。宴酣ながら午後八時の予定の時間となり、神社本庁総長矢田部正巳様の音頭で万歳を三唱して、懇談会は盛会のうちに終了した。

『教育勅語』の奉納
明治神宮正式参拝の思い出

前校友会総務委員長 村 田 浩 平



夏休み最終日、八月三十一日に明治神宮への正式参拝に行かせていただいた。目的は、昨年の父母の日に全校生徒で謹書した『教育勅語』の奉納である。上杉千郷理事長先生をはじめ、中村正昭校長先生、小林裕八先生、中学校友会役員の内田崇史、奥田千穂の二名と、私も高校校友会の村田浩平、山口新の計七名での奉納となった。

当日はあいにくの曇り空ではあったが、幸いなことに雨に降られることなく参拝することができた。明治神宮では、中島宮司様をはじめ神宮関係者の皆様の大変温かい歓迎を受けとても驚いた。厳肅な雰囲気の中で執り行われた正式参拝に際し、御神前

本法人関係

三万円	木村 徳宏様
百万円	近畿日本鉄道(株)様
大阪府	南木曾木材産業(株)様

企 業

社会福祉研究科修士課程社会福祉専攻	三万円	本田	利峰様
神道学専攻科神道学専攻	三万円	神澤	廣美様
	三万円	佐伯	素子様
	三万円	鈴木	正博様
	三万円	長谷部	正治様
	三万円	平石	和久様

この一日は私にとつて、とても内容の濃い充実した日となり、高校生最後の夏休みのよい思い出となった。

皇學館高等学校創立五十周年
皇學館中学校創立三十五周年
記念事業 寄付者芳名 ①

来る平成二十五年、当年を迎える皇學館高等学校創立五十周年・皇學館中学校創立三十五周年記念事業募金活動は、本年六月、正式にスタートいたしました。これは、募財活動の中心を「生徒の教育活動支援」に置いているものであります。十月末日現在での募金状況は、次の通りになっております。ご協力いただいた皆さまのご理解に感謝申し上げますと同時に、今後のご賛同・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

同窓会会員

東京都	五千元	富山県	二万円	愛知県	二万円
	依田 安代様		平尾 旨明様		藤井 和文様
一万円	一万円	岡山県	二万円	山口県	二万円
摺河 祐彦様	室崎 晴之様		伊賀 高夫様		西村 春樹様



新設・情報処理室での授業風景

後援会賛助会員

三重県	中条 隆一様	中浦美智雄様	岩脇 直也様
十万円	中条 隆一様	中村 幸弘様	奥村 裕様
五万円	谷 太喜夫様	中山健太郎様	川合 克美様
二万円	稲葉 幸平様	西岡 秀穂様	木下 正治様
二万円	今橋 幸子様	野村 有人様	黒田 大樹様
二万円	入江 司様	橋本 和久様	今 由佳里様

企業

愛知県	松永(株)様	三万円
三重県	(株)湊様	十万円
大阪府	岡田鞆囊(株)様	六万円
	千巻印刷産業(株)様	五万円

般（旧教職員・篤志家等）

旧教職員					
神奈川県					
三万円	望月	彰美様	二万円	北村栄三郎様	
三重県	石田	久司様	二万円	国府千嘉子様	
五万円	林	潤一様	二万円	柘植 虎雄様	
五万円	八木	直巳様	二万円	中村登美子様	
一万円	泉	洋文様	二万円	浜口 佳子様	
			福井 正和様		
			塩田 明雄様		
			香川県		
			五万円		

本法人関係

十萬円	田中美保子様	五万円	小塚 邦代様
十萬円	中村 貴史様	五万円	小林 万政様
十萬円	中村 正昭様	五万円	阪江 萌実様
十萬円	本間 一誠様	五万円	高島 昌二様
十萬円	松本 裕人様	五万円	中川 祐帆様
八萬円	臼井 輝子様	五万円	西井 栄治様
七萬円	岩崎 眞理様	五万円	蒔田 幸代様
六萬円	野間 貴幸様	五万円	本澤 雅史様
五萬円	相原 誠様	五万円	森田三三様
五萬円	伊藤 朝子様	五万円	安井 浩子様
五萬円	伊藤 素子様	三万円	小野 通明様
五萬円	岩城 美紗様	三万円	橘 泰夫様
五萬円	尾上誠一郎様	三万円	水本 昌克様
五萬円	岸本 典子様	三万円	山本 直明様

第62回 国民体育大会「秋田わか杉国体」出場生徒一覧表

開催日：平成19年9月29日(土)～10月9日(火)

学年	組	席	名 前	競技種目	競技日程	会場地市町村
2	1	9	中 川 裕 喜	柔道(少年男子)	10月 7 日(日)～ 9 日(火)	秋田市
3	2	8	谷 水 洸 太	バスケットボール (少年男子)	9 月30日(日) ～10月 4 日(木)	能代市
3	2	13	西 川 潤			
3	6	2	岩 城 法 拡			
3	8	15	木 村 紗 理	弓道競技(少女女子)	10月 5 日(金)～ 8 日(月)	由利本荘市

- | | | |
|---------------|------------------|-------------|
| ●三重県選手団の結団壮行式 | 9月19日(水) 15時～ | 三重県総合文化センター |
| ●本校壮行会 | 9月21日(金) 皇高祭閉会式後 | 体育館 |

結 果 木 村 紗 理 少年女子近の5位

平成19年度 全国高等学校総合体育大会出場

開催日：8月2日(木)～12日(日)

部	競技種目・出場選手	部	競技種目・出場選手
剣 道 部	【団体】 8/8(水) 清水 大毅(3年4組) 北川 裕也(3年5組) 前田 太郎(3年4組) 谷口 智基(3年3組) 橋本 光真(3年4組) 小嶋 剛史(2年4組) 田中 佑紀(2年2組) 【個人】 8/7(火) 北川 裕也(3年5組)	新 体 操 部	【団体】 8/5(日) 中谷 美加(3年2組) 藤本 真緒(2年5組) 牛江 茉有(2年4組) 藤田 絢子(1年2組) 渡邊 絵理(1年2組) 元木 麻菜(1年7組) 谷口 亜美(3年8組) 中村 愛(2年3組) 【個人】 8/4(土) [ロープ・フープ] 中谷 美加(3年2組)
	柔 道 部		【個人】 [73kg級] 8/7(火) 中川 裕喜(2年1組) [52kg級] 8/11(土) 山川 晴那(1年2組)
陸上競技部	【女子 走幅跳】 8/5(日) 森本 詞織(2年5組)		

結果 剣道部 北川 裕也 優秀選手賞

本人確認にご協力ください!

平成19年1月4日から、本人確認手続に関する法令の改正により、金融機関において10万円を超える**現金**をお振込みされる場合には、**本人確認書類の提示**が必要となります。提示がない場合には、金融機関では10万円を超える現金によるお振込みができません。

10万円を超える寄付金を現金でお振込みの際には、振込用紙とともに来店される方の本人確認書類をご用意のうえ、金融機関の窓口をご利用ください。

本人確認書類
運転免許証、健康保険証、
パスポート等公的証明書

法人の場合、登記簿謄本等の提示を求められる場合がありますので、詳しくはお振込みを依頼する金融機関にお問い合わせください。

皇學館大学 問い合わせ先

記念事業推進室 ☎0596-22-6313

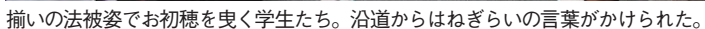
二万	二万	二万
山邊	村瀬	松野
政彦様	佳子様	高土様
五千円	一万円	一万円

山村	山本	今西
智彦様	殷次様	澄子様

個人情報保護に関する法律の施行に伴い、芳名・金額等の掲載をご希望されない方々につきましては、別記とさせていただきます。 ■一般／一名 ■同窓会会員／五名

■後援会賛助会員／二名

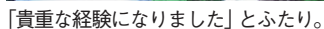
初穂曳に六百名が参加



あらためて実感

参加した神道学科一年生の成瀬義明さんは「皇學館大学の学生だからこ

嬉しかった」と同行事が
地元根付いていることに
驚いた様子で、伊勢に
脈々と受継がれる「伝統
の重み」をひしと受け止
めていた。

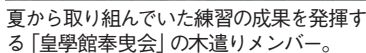


同会の会員で木遣り隊長を務めた山元洋輔さん

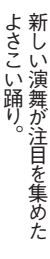
「お初穂」に

伊勢おおまつりでは
恒例のよさこいを披露

勢おおまつり」が盛大に



ふれるパフォーマンスに、沿道からは「去年とはまた違つ雲開きだね」「元気の良さが伝わってくる」といった声とともに惜しみない拍手が送られた。



伊勢三座の流れを汲む伝統芸能である一色能。
わが国の伝統を継承するという大学の目標の具現化として、一色町能楽保存会の全面的な協力により実施されたもので、会場には、学生を始

◆倉陵祭

ご協力により、地域物産展を同月二、四日の三日間開催した。今年は試行ということで、石川県支部、福岡県支部及び大分県支部のご協力を得て、

め熱心な能楽ファン的一般市民の方、約二百名集まり、仕舞や能「猩々」の幽玄な舞に惜しみない拍手が送られた。

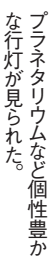
ご協力により、地域物産展を同月二〜四日の三日間開催した。今年は試行ということで、石川県支部、福岡県支部及び大分県支部のご協力を得て、各地域の特産品などを販売した。連日好評で、用意した物産全てを完売する盛況振りであった。来年以降は全国の支部にこ

子ども広場では「ピーターパン」夢の世界へ」と題しゲームや手品、劇が開催され大勢の子どもたちで賑わった。子ども広場局長を務めた脇田

習や大道具制作に勤しんだ日々を振り返った。家庭科・調理室で行なわれた恒例の「クッキー・プ
ラバン教室」もすぐにい
っぱいの人で埋まり、子
どもたちや親から「来年
もぜひ来たい」といった
声が聞かれるなど大盛況
だった。

◆ 皇名祭

遊びに来たという主婦は「奏者などみんな学生と



も注目を集めた。学園祭初の両学部交流イベントで、壮麗な装束を身にまとった舞女が登場すると会場はしんと静まり、聴衆は風雅な調べに耳を澄ましていた。孫を連れて

